

## 新型コロナウイルス感染症対策 緊急会合【速報】

45名を超える会員（Zoom 参加 9名）が

「経営者として会社と社員を守る決意」を固め、

「具体的対応策」を相互に学び合う

【TV 報道の予定】 緊急会合の様子が放映されます

3月27日（金）18：10～ NHK 甲府「NEWS かいどき」内にて

同 18：15～ YBS「ワイドニュース」内にて

### つかんだ手は離さない！

3月26日、アピオ甲府を会場に「新型コロナウイルス感染症対策 緊急会合」が感染予防の体制を整えた設営で開催されました。

当日は45名を超える会員が「お互いに支えあい、難局を乗り越えよう」と厳しい状況を乗り越える具体的な対応策を各社の事例を交流しながら検討しました。

冒頭、北原代表理事が会合の主旨を丁寧に説明。広浜中同協会長の談話「一社もつぶさない！知恵と力を出し合い危機を乗り越えよう」や代表理事談話「お互いに支え合い、難局を乗り越えよう」を紹介しながら、自社の存続と雇用を守ること、一人で悩まないで会員同士が支え合うこと、決して悪徳商人にならないこと、また、経営者として地域の担い手として消費者を悪徳消費者にしないことなどを提起しました。さらに、同友会は「つかんだ手は離さない」として会員企業を守り抜くことを力強く宣言しました。



## 資金需要には柔軟に対応

第1部は、日本政策金融公庫甲府支店 国民生活事業の亀山融資第二課長より緊急貸付の内容と具体的な申込み方法、窓口での対応状況などが報告されました。不測の事態なので、可能な限り経営者に寄り添って、無理な書類作成などは求めずに柔軟に対応していくことが紹介されました。また、質疑応答の時間も設けられ、条件変更の対応などについても率直な質疑が交わされました。

【日本政策金融公庫甲府支店  
国民生活事業融資第二課長  
亀山快 氏】 ⇒



## 同友会の真価が発揮されている

第二部では、経営相談室長で社会保険労務士の富永弘徳氏が雇用調整助成金や厚生年金保険等の猶予の制度について解説。冒頭、コロナ禍の中、国の支援施策や各情報について、同友会からの情報発信は瞬時でどこよりも早い。これだけでも同友会の価値がある。さらに、同友会の会員経営者と話をしている、解雇もやむを得ない厳しい状況にも関わらず「経営者として絶対に解雇はしない。従業員の生活がかかっており、雇用は何としても守る決意だ」とのやり取りがあったことを紹介し、さすがは同友会の経営者であること、改めて同友会の掲げる「人を生かす経営（労使見解）」の神髄をみたと熱く紹介がありました。



← 【経営相談室長 富永弘徳 氏  
富永社会保険労務士事務所 所長】

また、雇用調整助成金は、利用後の数年後には会社に調査が入り不正に対しては厳しい

チェックが入ること、利用に際してはしっかりと書類を整えて準備することが大切であることを強調。気軽に社会保険労務士に相談し、会社を守り、雇用を守る体制をすぐに構築して欲しいと呼びかけました。

## 数カ月先を見て手を打とう！経営者は常に前向きな発言を社内に発信しよう

第3部では、①現在困っていること、不安なことは何か、②向こう1カ月～3カ月で不安な点は何か、③今、どのような手を打っているか、④〇〇について相談したい、知恵を借りたいなど、という視点で意見交換し各社の対応を学び合いました。

各社の事例として、●情報発信を工夫する、顧客への「見せ方」を工夫する（HPなどで）●個人客を意識する、さらには「お一人様」プランを打ち出す、●普段できない社内改革を実施して、終息した際の展開に備える、●パート・アルバイトの働き方を高度化する。また、正社員は超高度化して生産性を高める、●使える施策はフル活用して、固定費を削減して少しでも売上を積み重ねる、●これまで開拓できていなかった層に営業活動を実施する（DMや電話）、●長期化を覚悟して「耐える」体制を組む、●3～4カ月先をみて本格稼働したときに飛躍できるよう全社員で検討する、など様々な対応が共有されました。

向山副代表理事のまとめでは、「目先の売上をどうしようとしてもどうにもならない状況。安易に価格を下げたりすると命取りになる。目先に対してバタバタしても良い方向には進まない。困難な時こそ経営者は前向きな発言で社員の士気を高め、数カ月先を見て手を打とう。資金繰りに関しては経営者がしっかりと把握し、事前に借入を行うこと。会員同士励ましあって、連携してこの難局を乗り越えよう」と確認しました。



←【向山副代表理事のまとめ】

緊急会合は報道各社が取材に駆けつけ、記者らは熱心に最後までメモを取り続けていました。ぜひ報道をご覧ください。

